

令和8年度 練馬区立光が丘第一中学校 学校経営計画

光が丘第一中学校
校長 豊田 貴志

I 教育目標

開校以来の教育方針（友愛、連帯、奉仕）を踏まえ、心身ともに健康で創造性豊かな知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指す。

①	「自主的に学び、考え、実行する人」	(知)
②	「心豊かで、ともに助け合う人」	(徳)
③	「健康で、勤労を愛する人」	(体)

近年、自分自身の力で課題を解決することに戸惑いをもつ生徒や、他者とのコミュニケーションを苦手とすることによるトラブルに遭遇する生徒が見られる。これは本校のみならず、現在の中学校が抱える教育課題のひとつである。

本校の教育目標である「自主的に学び、考え、実行する人」「心豊かで、ともに助け合う人」は中学校生活だけではなく、一般社会に出ても必要な資質であり、小学校からのスムーズな接続を意識しながらも、中学校の段階で丁寧育てたい。そのため、中学校生活の中で「自主的に学ぶ姿勢」を培い、授業だけでなく、学校行事や友人関係の中でも、自らの力で成長できる指導を心がける。

また「豊かな心を持ち、他者と手をたずさえて」生活していくためには、自分のよさとともに他者の大切さを認められる、人権尊重の精神が推進される学校であることが重要である。そのような環境の中で「いじめは許されないものだ」という認識を学校にいる全員が共有し、生徒どうしがよりよい人間関係を形成していくための「温かな雰囲気」を醸成する指導を心がけていく。また生徒一人一人の違いをお互いが理解し、多様性を認める指導をしていく。

2 目指す学校の姿（生徒の姿）

生徒が光が丘第一中学校での生活において… 『喜びや笑顔に満ち、自らの成長を感じながら 「明日も学校に行きたい」と思える学びの場の実現』

3 教育目標を達成するための中期的な方針（中期経営目標）

（1）学力の向上（教育目標①）

❖生徒に「基礎・基本」を身につけさせるとともに、身につけた知識・技能を活用できる力を育成する

- ・UD、UDLの視点に立ち、学習意欲を向上させ、誰にでも分かる授業づくりに向けた授業改善
- ・DXを導入した生徒一人一人に応じた個別の課題の提案とその解決

（2）豊かな心の育成（教育目標②）

❖生徒の思いやりの心を育てるとともに、目には見えない気持ちを行動としてあらわすことのできる力を育成する

- ・自分のよさとともに他の人の大切さを認め、人権や生命が尊重される温かみのある雰囲気醸成
- ・集団の中での自律や規範意識を育てる指導の推進
- ・生徒や保護者との面談や教育相談の充実

（3）健康・安全の推進（教育目標③）

❖生徒たちが、自ら進んで気持ちの良いあいさつをし、健康・体力の増進を図ることができ力を育成する

- ・生徒の健康・体力の増進を図る教育活動の充実
- ・安全に関する判断力の育成
- ・保護者や地域、外部機関との連携による生徒の健全育成

（4）組織力の向上と地域への発信

（上記（1）～（3）を達成するための組織づくり）

❖主幹教諭を推進役とし、組織的に教育活動をすすめる
❖信頼される学校であるため、光一中の教育活動を広く発信する

- ・主幹教諭を中心とした組織的運営の確立
- ・若手教員の計画的育成
- ・PDCAサイクルによる改善
- ・積極的な外部への情報発信


4 令和8年度の達成目標と具体的方策





(0) 令和8年度の重点

「学校生活のユニバーサルデザイン化」研究発表に向けた取組の推進
(練馬区研究指定校2年目)

(1) 学力の向上 (教育目標①)


【8年度 達成目標】
UD および UDL の視点に基づく授業改善を全教員が実践している状態を実現する


【具体的方策】方策の重点… 



-  ・見通しと振り返りを明確にした授業の実施 (実施率 100%)
-  ・UD、UDL の視点に立った授業実践と振り返り。そのための校内研究を年間6回実施
- ・互いの授業観察週間を年間1回実施 (実施率 100%)
-  ・ICT を活用した個別最適な学習の実施 (活用率 80%以上)
-  ・掲示物や学習環境の整備の実施 (実施率 100%)
- ・主体的・対話的で深い学び、3 観点をバランスよく、指導と評価の一体化。そのための年度初めの評価評定についての研修会実施 (4月)
- ・地域未来塾、学力向上支援講師の積極的活用
- ・e ライブラリを全教科で積極的に活用 (通年)
- ・朝読書の年間を通しての実施 (通年)
- ・PDCA サイクルを回し、学期末に教師、保護者、生徒による学校評価の実施 (通年)
- ・生徒、保護者のニーズにそった進路指導の充実 (通年)

(2) 豊かな心の育成 (教育目標②)

【8年度 達成目標】
生徒が安心して学校生活を送り、他者を尊重して行動できる状態を実現する

【具体的方策】方策の重点… 

-  ・いじめアンケートを年3回実施 (対応率 100%)


- 
 ・生徒の呼称の統一（通年）
 - ・いじめ対策委員会を中心とした組織的な対応（通年）
 - ・不登校、登校しぶりの生徒および保護者への丁寧な対応（通年）
 - ・不登校・登校しぶりに関する会議を週1回以上実施
- 
 ・校則見直し等の自治活動の推進（通年）
 - ・校内委員会の毎週の実施と情報交換および指導の共通理解（通年）
 - ・学校生活支援シートの作成と活用、外部機関との連携、SSTの研修
 - ・小中合同あいさつ運動の実施（12月）
 - ・子供につながる保護者支援（通年）
 - ・人権教育プログラムを活用した人権尊重教育の推進（4月）
 - ・生徒および保護者理解（特性、不登校、性格、多様性、他）（通年）
 - ・自立に向けた個々への適切な支援と子供につながる保護者支援（通年）
 - ・特別支援教育校内委員会での、外部機関との連携、安否の確認、長期休業日前後の指導（通年）
 - ・生徒が主体となって創り上げる学校行事や部活動（通年）
 - ・組織的な対応力の向上、外部機関との連携（通年）
 - ・連絡体制の確立報告・連絡・相談・記録（通年）

（3）健康・安全の推進（教育目標③）

【8年度 達成目標】

生徒が健康で安全な生活を送るための知識と態度を身に付けている状態を実現する

【具体的方策】方策の重点…




- 
 ・ライフデザイン講座の実施（全学年1回ずつ実施）
 - ・体力向上イベントの実施（2月～3月）
 - ・情報リテラシー教育・セーフティ教室、薬物乱用防止授業、食育、保健指導、健康・安全に関する教育の充実（実施率100%）
 - ・安全教育・防災教育の計画的実施（通年）

(4) 組織力の向上と地域への発信

【8年度 達成目標】

組織的に教育活動を推進し、課題解決に取り組む体制が機能している状態を実現する

【具体的方策】方策の重点…

-  ・主幹教諭や学年主任を中心とした企画調整機能の強化（通年）
 -  ・若手教員研修を計画し実施（通年）
 -  ・報告・連絡・相談の徹底（通年）
 - ・学校評価を実施し改善に反映
 - ・積極的な情報発信の実施（通年）
- ※学校ホームページ、Googleクラスルーム、Sigfy等のデジタルコンテンツ、学校だより・学年だより等

(5) 学校スローガンの設定

教育目標ならびに中期経営目標等を達成するために、学校内において生徒や教職員が共通認識をもつためにスローガンを設定、継続。

「凡事徹底」…当たり前のことを誰よりも一生懸命やり続ける
「心を形に」…気持ちの良い挨拶、感謝の気持ち、仲間を大切にす